

ACKG

売上420億の目標設定 前期受注は海外が大幅増



日、今後3年間の経営戦略を

明らかにした。2015年9月期は売上高370億円(前期実績見込み比2.2%増)、営業利益8億6000万円(同21.1%増)、3年後の17年9月期はそれぞれ420億円、13億円に目標を設定した。

市場環境について野崎秀則社長は、「国内は地方創生や国土のグランドデザイン、国

土強化などを国が推進していくので、事業は基本的に一定以上確保される」との見通しを示した。写真。好環境が続くのは2-3年という姿勢で事業に取り組む、「この3年間は成長を遂げる重要な期間である」と位置付けた。

受注は、前期(14年9月期)が410億-420億円に伸びた模様だ。野崎社長は、海外の増加が大きかったと説明。今期は海外の伸びが期待できないため、受注目標は若干の増加にとどめている。8つの重点化事業が受注に占める比率は、今期の40%から17年9月期は50%に拡大する。

人材確保では、14年9月期の社員数1760人を、3年後には270人増の2030人に増員する。人員増は新卒がメインで、中途採用も積極的に行うほか、M&A(企業の合併・買収)も視野に入れている。女性社員は334人を394人、女性管理職は13人を23人に増やす計画だ。グループの連携を強化する

ため、3年間で15億円を投資する。新たにグループ連携助成制度を創設。グループ会社同士が連携して受注する際に必要な経費や、国内の人材が海外業務にチャレンジするケースなどに助成、個別企業の負担を軽減して促進させる。

M&Aへの対応は、海外の場合、現地法人を軸に現地企業とのパートナーや買収などを実施する。国内については野崎社長は、地方自治体でインフラの保全事業が拡大する見通しのため、「地方のコンサルとのM&Aや緩やかな連携で、ネットワークを広げることが重要だ」と述べた。

【ACKグループ野崎社長「来期以降、成長の年」自治体向けにCM業務展開】

野崎社長「来期以降、成長の年」

自治体向けにCM業務展開

ACKグループ

ACKグループは9月30日、9月に発表した「新

中期計画 ACKG20

13（強化）」について

記者会見し、野崎秀則

社長Ⅱ写真Ⅱは「来期

以降の3か年は成長を

遂げる重要な年にな

る」との考えを示し、

来期以降、自治体向け

のCM（コンストラク

ト・マネジメント）業

務を本格展開する。

同計画は、13年9月

期にスタートを切り、

今期（9期）で2年が経

過する。9月に策定した

強化方針では、▽個の強

化▽連携の強化▽3軸市

場の競争力強化をポイン

トに、20年までの目標値

として新たに重点化事業

による売上高を1・5倍

増に、さらに社員数50

0人以上の増、女性社員

100人以上増、グロー

バル人材200人以上増

などを掲げている。

こうした中、記者会見

で野崎社長は、「来期（10

期）以降の3か年は成長

を遂げる重要な年にな

る」との姿勢を見せ、「地

域創生」をキーワードに、

道路などの社会インフラ

を管理する地方自治体に

代わって保全事業を行う

CM業務へ本格的に乗り

出すと明言。また、地方

の拠点都市を対象にコン

パクトで交通網の高度化

を目指した基盤整備など

グループが持つ強みを生

かした事業を展開してい

く。



【ACKグループ中期経営計画を強化 20年までに社員500人以上増員】

ACKグループ

中期経営計画を強化

20年までに社員500人以上増員

ACKグループ（野崎秀則代表取締役社長）は、中期経営計画「ACK G2013」で掲げた2020年の売上高500億円以上、営業利益20億円の目標達成をより確実なものとするため、重点化事業の売上高を14年（第9期）末の1・5倍増とするなどとした同計画の強化策をまとめた。人材の確保・育成を着実に進め、社員500人以上、

女性社員100人以上の増員も図る。有資格者も技術士300人、博士40人以上増員する。

中期経営計画「ACK G2013」は13年9月期にスタート。13年（第8期）は売上高327億円、営業利益5億円を確保し、14年（第9期）も「海外の受注が好調に推移しており、売上高、営

業利益ともに13年を上回る見込み」（野崎社長）だという。

ただ、20年の目標達成をより確実なものとするには「現行計画の▽強みの活用▽事業創造▽育成と連携」の三つの基本方針に加え、▽個▽連携▽3軸（国内公共・国内民間・海外）市場の三つを強化する必要がある」（同）と判断した。

具体的には、第10期（15年9月期）の時点でインフラ保全・運営管理など八つの重点化事業のプロジェクトを63件以上推進し、重点化事業の「総合化」を図り、ナンバーワン、オンリーワンの総合化・複合化した技術・

サービスを提供できる人材を養成、グループとしての体制を構築する。

このため、第10期（15年9月期）からの3カ年で15億円を投資し、海外現地法人の設立によるグローバルネットワークの構築や大学・異業種との連携強化などを進める。ACKグループ企業がそれぞれ柔軟に投資資金を運用できるよう助成制度も創設する。

人材についても第10期（第12期（17年9月期）の3カ年で、社員を230人、女性社員を60人、グローバル人材を110人増員。女性管理者10人も養成し、技術士150人、博士15人も確保する。